



平成 29 年度人材育成プロジェクト企画 音楽ワークショップ

# 人プロYWT

(Y) やったこと / (W) わかったこと / (T) つぎにやること

場所  
リブインさくら  
デイサービスセンターさくら

編集  
畠山裕之 (みずき)



使用した楽器 (一部)



リブインさくらでの様子



デイサービスセンターさくらでの様子



皆様、  
ありがとうございました！

## (Y) やったこと…なにをやったか

東京文化会館様と日本センチュリー交響楽団様の音楽ワークショップリーダーをお招きして、午前中はリブインさくら、午後はデイサービスセンターさくらにて利用者さんを対象に「曲作りプログラム」を行いました。内容は、参加した利用者さんが好きな楽器を手にとって「音」を出し、それをリーダーの方々が拾っていく（言語ではなく音をツールとしてコミュニケーションをとる）ことで、自然と「音楽」ができあがっていくというものでした。いずれも自然と最後に歌を歌う事になり、参加した多くの利用者さんは楽しんでいました。

## (W) わかったこと…気づき、学び、感想

私が思ったことは、利用者さんそれぞれで楽しみ方が異なるという事です。楽器で音を出すことを楽しむ方、楽器を通してファシリテーターとのやり取りを楽しむ方、ご自身が出した「音」が「音楽」になる事を楽しむ方と、段階的に様々な楽しみ方ができるワークショップだと感じました。

また、関わる職員には「関与しすぎない（主体性を大事にする）」というルールがありましたが、普段とは違ったやりとりで利用者さんの楽しそうな様子を見る事ができ、良い機会になったのではないかと思います。

## (T) つぎにやること…次回にむけて

今回のワークショップは今後、利用者さん対象の行事や活動として、あるいは職員の研修として活用できる等、プラスの可能性を持っています。人材育成プロジェクトで、どう活用していくか検討していきます。